

# 横浜市介護支援専門員連絡協議会 連絡協議会議事録

<b>会議名</b>	平成30年度10月 定例会		
<b>開催日時</b>	平成 30 年 10 月 19 日(金)	19:00~20:45	<b>開催場所</b> 横浜市社会福祉センター9階
<b>議 題</b>	1	情報提供	
	2	各委員会及び他団体の協力委員報告	
	3	その他連絡事項	
	4	各委員会報告	
	5	ブロック会議と発表	

No	議 題	内 容
1	情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ケアマネジャーへの退院調整アンケートへのご依頼」について 医療局がん対策課 保下係長から 市内居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャーを対象に「退院調整状況」、「入院時・退院時情報共有ツール活用について」のアンケートを依頼したい。10月末に局から発送予定。記入のうえ医療局へ返送を依頼したい。アンケートには今年度から項目「5」を追加している。</li> <li>・在宅療養移行支援研修 本人・家族に寄り添った在宅療養移行支援～病院からおうちへ帰ろう～ 講師に在宅ケア移行支援研究所お宇都宮宏子氏を迎え横浜市在宅療養移行支援事業について等の講演を行います。 応募定員500名を越えたらお断りのお知らせをします。連絡が無ければ受講可能という事です。</li> <li>・事例検討会の進め方 横浜市六浦地域包括支援センター 中村主任ケアマネジャーから 主催:自主勉強会たけのこの山 共催:旭区在宅医療相談室 平成31年1月22日二俣川地域ケアプラザで開催予定。配布したチラシは二俣川地域ケアプラザの住所が違う為訂正した物を交付します。 事例検討会の進め方、まとめ方などを学ぶ会を企画。</li> </ul>
2	各委員会及び他団体の協力委員報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療連携委員会(小泉氏) 欠席</li> <li>・制度対策委員会(佐藤孔一氏) 10月11日委員会を開催し研修を計画。「がんについて考えてみよう」というコンセプトで僧侶、看護師、ケアマネ経験もある玉置妙憂氏へ依頼する。原田氏が面会予定。テーマは「今ケアマネみんなで考えるガン」(仮)としている。また今後の研修を「今ケア」としてシリーズ化し定着させたい。開催時は各区代表の支援もお願いしたい。</li> <li>・広報委員会(松下) キントーンの開設完了。今年度中にサイボウズライブからの移行を完了させたい。役員、各区代表には随時キントーンから招待状をメールで送付する</li> </ul>

No	議 題	内 容
		<p>また、10月20日サイボウズ本社にて加藤会長、小松副代表、松下広報委員長の3人でレクチャーを受ける予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局           <ul style="list-style-type: none"> <li>(原田氏欠席の為佐藤孔一氏代行)</li> <li>神奈川県制度改正検討委員会との意見交換。今年度のテーマ「介護保険における区分支給限度額について」。県内の居宅事務所にメールにてアンケートを依頼する。</li> <li>(佐藤洋平氏)</li> <li>平成30年7月4日相模女子大学グリーンホールにて「地域包括ケアにおいて今後求められる介護支援専門員の役割」と題した研修があり横浜からも多数の方々に参加頂きありがとうございました。(月刊ケアマネジメントにも掲載されています。)</li> <li>・県協会の制度改正・調査研究委員会では、今年度の調査を「介護保険における区分支給限度額の利用率に関する調査」を行います。11月の下旬にらくらくからアンケートがメール配信される予定です。御協力の程宜しくお願い致します。(上記補足)</li> <li>・本日の委員会の出席者の方に出席簿の記入をお願いします。</li> </ul> </li> <li>・他団体協力委員           <ul style="list-style-type: none"> <li>・もしも手帳について。レイアウトの変更があるかも。</li> </ul> </li> </ul>
3	その他連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第17回神奈川県介護支援専門員研究大会 in 相模原           <ul style="list-style-type: none"> <li>加藤代表が参加。成年後見制度における意思決定支援、後見人による「本人意思の尊重」への取り組みについて。</li> </ul> </li> <li>・健康福祉局との意見交換会について           <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度がん末の利用者の要介護認定についてアンケートを実施しまとめたが今後もアピールを続ける。</li> </ul> </li> </ul>
4	ブロック会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各区をエリア分けせず当日の座席で仕分け。意見交換を行い、終了後発表する。</li> <li>グループ1)           <ul style="list-style-type: none"> <li>包括(予防ケース)終了プランの返却書類内容、プランの記載内容、意見書をくれない・等対応が包括毎にまちまちである。一律してくれるとケアマネも助かるが最終的に困るのは利用者では？</li> </ul> </li> <li>グループ2)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・青葉区、緑区、南区、磯子区とバラエティにとんだメンバー構成。</li> <li>市内北部にある事業者はショートステイに利用に困らないが南部は施設が少ないので困っている。また送迎の際付き添いが必要など初回はともかく毎回は困る条件を出す事業者もある。ケアマネが同行するのも毎回は難しいし付き添い前提では利用者にとっても不利ではないのか？</li> </ul> </li> <li>グループ3)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・CMにも処遇改善加算や要介護度が軽くなったら加算を付けてほしい</li> <li>・インフォーマルなサービスしかないプランについても何らかの報酬をつけてほしい。</li> <li>・10月から港北区では例外給付の判定が厳しくなった。また今までは結果通知を郵送で貰えたが取りに行く事になった。またこの件は7月に市から既に各区へ通知が出ている。</li> <li>・福祉振興会に認定調査を依頼すると調査まで1か月かかる、調査先で駐車場が使えないと行かない、利用者に勝手にアドバイスする等の困った事が起きている。</li> <li>・もしも手帳とエンディングノートが区によっては同時期出そうだが、ケアマネとしてどちらを推せば良いのか</li> </ul> </li> </ul>

No	議 題	内 容
		<p>グループ4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地位包括ケア計画をベースに実験としてICTの活用</li> <li>・ケアマネは業務がたいへんなわりに減算が多い。チームケアがうまくいって要介護度が下がった等の成果があったら評価してほしい。またそういった場を作ってほしい。</li> <li>・利用者個々で事情、障害、疾患の原因が違う。自立支援について個々のケースでの配慮が必要では？インセンティブとして評価してほしい。</li> </ul>

次回:30年11月16日(金)19時から  
横浜市社会福祉センターにて